

2014年度 中間評価会開催!

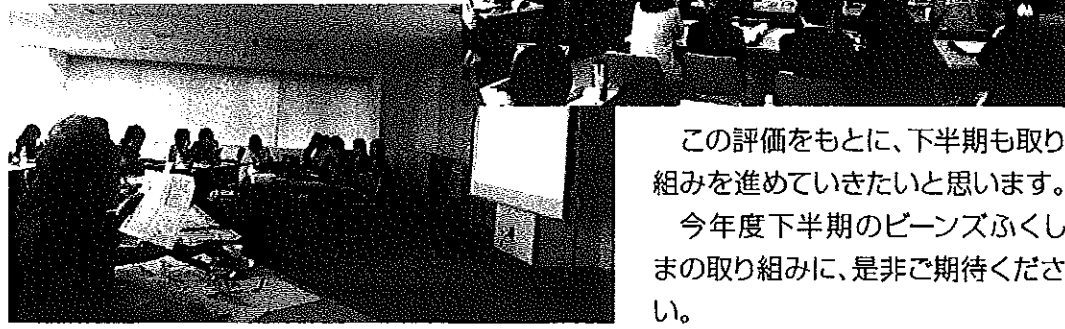
立ち止まって見えてくること。

2014年度も上半期が過ぎ、ビーンズふくしまでは上半期の事業の進捗と成果の確認、下半期の重点課題について、各事業から報告がありました。毎回、評価の場の持ち方も共有の持ち方も試行錯誤です。

ゴールは、各事業が立ち止まって成果と課題を見返し、改善のヒントと、評価の場から下期の試す勇気を貰うことです。

団体全体の活動の進捗や課題を共有することで、お互

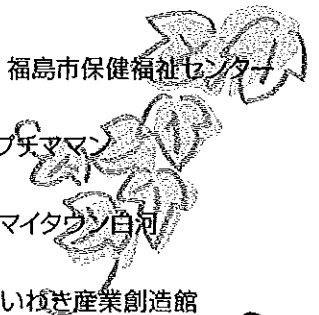
いに協力できる場所、団体として手を打たなければいけないこと、様々なことが見えてきました。



この評価をもとに、下半期も取り組みを進めていきたいと思ひます。今年度下半期のビーンズふくしまの取り組みに、是非ご期待ください。

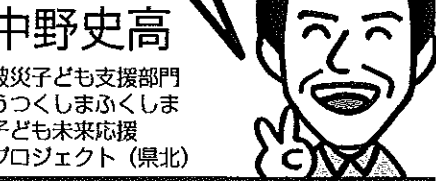
これからの活動予定

- ままカフェふくしま 11月28日(金)、12月26日(金) 10:00~12:00 福島市保健福祉センター
- ままカフェこおりやま 11月13日(木)、12月11日(木) 10:00~12:00 ぶちま
- ままカフェしらかわ 11月12日(水)、12月10日(水) 10:00~12:00 マイタウン白河
- ままカフェいわき 11月18日(火)、12月16日(火) 10:00~12:00 いわき産業創造館
- ままカフェみなみそうま 11月14日(金)、12月12日(金) 10:00~12:00 原町保健センター
- クリスマス会 会場/フリースクール 日時未定



新人紹介 どうぞよろしく!

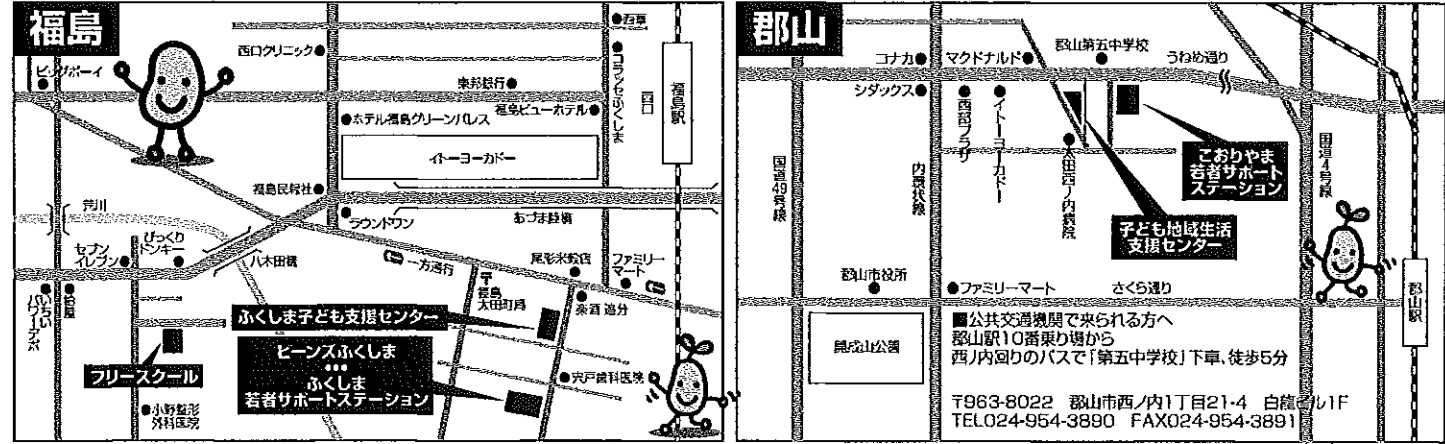
日頃接している子ども達のように日々成長できるよう、周囲のみなさんから学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



中野史高
被災子ども支援部門
うつくしまふくしま
子ども未来応援
プロジェクト(県北)

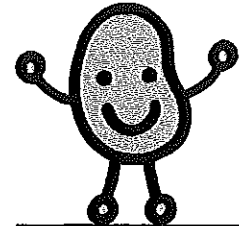
編集後記

発行日の翌日は11月11日。年始から315日目にあたり、年末まであと50日。算用数字で表すと1111、漢数字で表すと十一一となることから、多くの日本の団体や企業がこの日を記念にしているそうです。例えば、食品関係だけでも豚まんの日、麺の日、ポッキー&プリッツの日、きりたんぼの日、もやしの日、鮭の日、ピーナッツの日…。記念日は、どちらかという



●ビーンズふくしまのホームページ はこちらへアクセス <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>

ビーンズ通信



●発行元
特定非営利活動法人
ビーンズふくしま
〒960-8066 福島県福島市矢矧町22-5 2F
TEL&FAX 024-563-6255
URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>
E-mail info@beans-fukushima.or.jp

●発行日/2014年11月10日

Vol.66

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

皆さんに支えられて。15周年を迎えることができました!

たくさんの皆さんに支えられて、ビーンズふくしまは今年15周年を迎えることができました。これまで、お世話になった皆様に心から感謝いたします、ありがとうございました。

このところ、ビーンズふくしま初期の頃にフリースクールを卒業していった子どもたち(今では立派な若者になりましたが)に出会う機会がありました。当時の話を懐かしく語り合いながら、ビーンズふくしまの何が良かったのか、聴くことがあります。ある卒業生は、「そのままの自分で居れたことかなあ」と言っていました。何かをしなければならぬではなく、こ

うあらねばならないでもない、本来の自分で居られる環境が、子どもたちの安心となり、自信になり、それが自己肯定を育み、一歩前に進もうという気持ちに繋がっていくことを、あらためて実感しました。

彼らには「力」があります。それぞれが自分らしく生きていくことができる「力」を持っています。私たちはそれを信じるからこそ、「そのままの自分」で居られる場を保障していくことを大事にしてきました。

ビーンズふくしまの活動は、この15年で地域的にも、内容的にも広がってきました。それは、子どもたちをめ

ぐる社会環境が大きく変化し、子どもたちが「そのままの自分で居られない」、そんな状況が増えてきたということではないでしょうか。それが、若者たちの「課題」と言われる状況にもつながっているのではないのでしょうか。

私たちは、これからも、子どもたち若者たちが、自分の力を自ら信じて、安心して生きていける社会を、地域の皆様と共に手をつなぎながら創っていきたく思っています。どうぞ、これからもよろしくお願ひいたします。

NPO法人ビーンズふくしま
理事長 若月ちよ

みんなでジャンプ! 15周年

9月9日9時9分をもって、ビーンズふくしまは15周年を迎えました。フリースクールにはビーンズスタッフと子どもたちが朝早くからたくさん集まっており、にぎやかな様子。予行演習を二回ほど行い、今年も9月9日9時9分の瞬間を写真に収めることに成功しました。

写真撮影の後は15周年にちなんで「15のテーマでお話会」という企画をおこない、みんなで出し合った15のテーマでテーマトークしました。

一人ひとつ、引いたお題についてはなすというものだったのですが、最後

のテーマについて全員ひとこと話そう、ということになり、残ったテーマは「自分の15年を振り返る」という15周年にぴったりのお題でした。おのおのの15年を振り返り、スタッフの意外な過去から、深い話がたくさん聞けました。

午後にはみんなでボーリング。初めてボーリングをする子がストライクを連発

したり、ピンを着ぐるみを着だすスタッフがいたり、ハプニングいっぱいでしたが、楽しい時間となりました。



15周年おめでとう! メッセージ

福島部門 支援の輪から、地域の輪へ

福島部門には原点となる「フリースクールビーンズふくしま」があります。子どもたちや親御さんの状況に合わせ、ちよつとずつ変化をしながら、15年間、福島の地にあり続けました。福島に「あり続ける」ことで、ちよつとずつちよつとずつ地域の「必要な存在」になれているのではないかなと感じています。

地域の方々とながれていくことで「支援の輪」から「地域の輪」に変わっていき、子どもたちが安心して育っていく理想の社会に近づけるのかなあと思います。これからも支えてくださる皆様に感謝し、活動し続けてまいります。

郡山部門 地域の方々と手をとって

郡山事業部門は2008年に設立され、今年で7年目を迎えます。これも私たちの活動に賛同して下さる皆様をはじめ、地域の方々の支えがあったからこそと感謝しております。部門設立当初は、ゼロから事業や地域の方々とのつながりを築いていかなければならず、難しさもありました。ただ、それ以上に新たなつながりができることで、私たちの取組の可能性が広がっていくことを実感でき、それが励みになり、原動力になり、今につながってきていると思います。今後もミッション達成に向けて地域の方々と協働して活動を続けていきたいと思っております。

被災子ども ビーンズふくしま 15周年によせて

これまでご縁のあった皆様、支えてくださった皆様、ビーンズは創立より15周年を迎えることができました。「自分達の学校をつくるとしたら」という若者の夢物語から、「登校拒否を考える会」の親さんや、福島の子どもの問題に関心を持っていただいた市民の皆さんの参加も得て誕生したフリースクール。子どもにとっても、関わる大人にとっても夢いっぱい濃密な場所でした。フリースクール以外にもその時々の子どもの状況や、社会の変化の中で活動は大きく広がってきましたが、夢や熱い思いの濃密さを失わない、そんなビーンズふくしまでこれからもありたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願ひします。被災子ども支援部門 中鉢博之

OBより ビーンズ15周年 おめでとうございます。

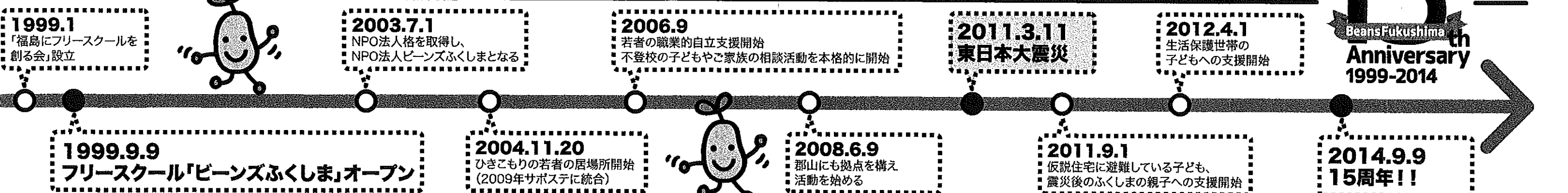
OBの者です。僕がビーンズに通い始めたのは約8年前の中学1年生のころです。それから19歳までお世話になったわけですが、ここではたくさんのことを学び、自分に気づき、思いっきり楽しむことができました。話し合いの難しさ、企画作りの楽しさ、人とふれあう喜び。学校では学べないことをたくさん学べました。そして今は、ボランティアとして関わっています。ボランティアでは生徒時代とはまた違った視点で企画や話し合いに参加し、子どもたちのすごさに感心してばかりです。これからもよろしくお願ひします。&15周年おめでとうございます。

現役生より 15周年 おめでとうございます。 さすがっ!

約4年くらいフリースクールにいますが(4年もいるの俺?)、フリースクールは自分らしく居られる場所です。このスタッフは、印象に残るスタッフばかりで、変な人ばかりです。ここでの1番の思い出は、キャンプでキャンプファイヤーしたことかな。なんか楽しかったなあ。これからも、大きなことはやらなくていいので、今まであったものを崩してほしくないです。無理して大きなことをやるのは、ビーンズじゃない気がするの。

OBより ビーンズふくしま 15周年おめでとうございます。

ビーンズは自由で個人を尊重してくれ、安心できる居場所でした。キャンプなどでのたくさんの体験や学び、そしてスタッフや仲間のみんなとの笑顔あふれる日々は、かけがえのない心の宝物です。ビーンズがみんなの居場所であり続け、幅広い分野で貢献していることを嬉しく思います。私達も自分らしくそれぞれの道を歩んでいることが、ビーンズの励みになってくれたらと思います。これからも、ビーンズのつるが天高く伸び続け、たくさんの実をつけることを願っています。私も成長を見守ってまいります。ビーンズふくしま卒業生 萩原慎也



15th Anniversary 1999-2014

東芝 分解ワークショップ開催

みなさん、パソコンの中身がどうなっているか知っていますか。いつも使っているパソコンですが、なかなか見ることができませんよね。今回は、東芝さんのご厚意により、パソコンの分解ワークショップを開いていただきました。フリースクールやピアサポのみんな、そしてスタッフも一緒になって、普段できない体験にワクワクで臨みました。夢中になってネジを回し、細かく部品を分解。「これが、CPUかぁ」、「ハードディスクはこれなんだ」そんな感嘆の声があちこちで漏れてました。パソコンの構造だけでなく、リサイクルについてや、東芝さんの歴史等、たくさんのことを教えて頂きました。本当に貴重な機会をありがとうございました。



仮設住宅でのイベント

福島民報の号外(参加者限定配布)の催しが、10月11日(土)に福島市しのぶ台仮設で行われました。ピオラなどの苗を植えたり、ハンドマッサージをしたりするものです。浪江町から避難している皆さんが15名ほど集まりました。初めに花王グループのお姉さんに、マッサージの仕方を教えていただいた後、向かい合った同士でハンドマッサージ。ちよつと痛かったり、くすぐったかったり、でもいい気持ち!

福島民報の写真には、子どもとお母さんの表情がこの通り、「いい顔!」です。なお、同じ写真に、私と上から目線の妻も載っています。いつもこうです。(Nii)

